

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公表番号】特表2008-515625(P2008-515625A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-535758(P2007-535758)

【国際特許分類】

B 05 C 9/08 (2006.01)

B 05 D 1/26 (2006.01)

B 05 C 5/00 (2006.01)

B 41 J 2/085 (2006.01)

B 41 J 2/09 (2006.01)

B 41 J 2/075 (2006.01)

【F I】

B 05 C 9/08

B 05 D 1/26 Z

B 05 C 5/00 1 0 1

B 41 J 3/04 1 0 4 E

B 41 J 3/04 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月26日(2008.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流体液滴を生成する装置であって：

ノズルチャネル；

前記ノズルチャネルと流体のやり取りをし、かつ前記ノズルチャネルを介して前記非導電性流体のジェットを生成するように動作できる加圧源；及び

刺激用電極；

を有し、

前記刺激用電極の少なくとも一部は導電性で、かつ前記非導電性流体の一部と接触可能で、

前記刺激用電極の前記少なくとも一部の導電性部分は、前記非導電性流体ジェットの前記一部の領域へ電荷を移送するように動作でき、

前記電荷は前記非導電性流体ジェットを刺激することで非導電性流体液滴を生成する、装置。

【請求項2】

流体液滴を生成する方法であって：

非導電性流体ジェットを供する工程；

刺激用電極の導電性部分に電荷を供する工程；

前記電荷を、前記刺激用電極の前記導電性部分から前記非導電性流体ジェットの一部へ移送することによって、前記非導電性流体ジェットを刺激することで非導電性流体液滴を生成する工程；

を有する方法。

【請求項 3】

少なくとも1つの導電性部分を有する、非導電性流体ジェットから流体液滴を生成する刺激用電極であって、

前記少なくとも1つの導電性部分は、導電性でかつ前記非導電性流体ジェットの一部と接触可能で、

前記少なくとも1つの導電性部分は、電荷を、前記非導電性流体ジェットの前記一部へ移送し、かつ、

前記電荷は非導電性流体ジェットを刺激することで非導電性流体液滴を生成する、電極。